

『日本アミノ酸学会第2回産官学連携シンポジウム ～アミノ酸科学への新たな期待～』

日時：2010年6月7日（月） 13時～19時

会場：東京大学農学部 弥生講堂（第1・3部 一条ホール、第2・4部 アネックス）

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1

協賛：日本栄養・食糧学会、日本栄養改善学会、日本畜産学会（予定）

プログラム（予定）：

《第1部 アミノ酸と食品に関する最近の話題》

「アミノ酸成分表の改訂と新しい食品のタンパク質量算出法の提案」 野口忠（中部大学）

「食品中化学物質のリスクについて」 畝山智香子（国立医薬品食品衛生研究所）

「機能性食品の安全性と有用性の評価」 梅垣敬三（国立健康・栄養研究所）

《第2部 ポスターセッション》

《第3部 アミノ酸・タンパク質の利用と有効性》

「育成子牛に対するトリプトファンの投与とホルモンの分泌応答」 新宮博行（畜産草地研究所）

「加齢に伴う筋量減少（サルコペニア）の予防と栄養・運動刺激の役割」 藤田聡（立命館大学）

「皮膚とアミノ酸」 岩崎敬治（味の素株式会社）

「コラーゲンを食べることで期待される効果 ～その成功の秘訣～」 野村義宏（東京農工大学）

《第4部 ミキサー》

参加定員：300名（本学会ホームページから事前参加登録をお願いします。先着順）

参加費：一般 3,000円、学生 1,000円（当日受付にて申し受けます）

問合せ：シンポジウム実行委員 平林由理

〒210-8681 川崎市川崎区鈴木町 1-1

味の素株式会社アミノサイエンス研究所 機能製品研究部アミノ酸機能研究室

TEL：044-244-7180、FAX：044-244-7165

E-mail：yuri_hirabayashi@ajinomoto.com